

2. 下記項目における、障害者手帳非所持かつ自立支援給付等非受給者の人数分布と割合を65歳未満と65歳以上に分けて表示

設問項目	選択肢
1. 住宅の種類	自分の持ち家、家族の持ち家、民間賃貸住宅、等
2. 同居者の状況	同居者有（夫婦で、親と、子と、等）、一人で暮らしている
3. 今後の暮らしの希望	今までと同じように暮らしたい、一人暮らしをしたい、等
4. 生活のしづらさが生じ始めた年齢	0～9歳、10～17歳、18～19歳、20～29歳、30～39歳、等
5. 生活のしづらさが生じ始めた後の生活のしづらさの度合の変化	変化していない、生活のしづらさが大きくなっている、生活のしづらさが小さくなっている、等
6. 生活のしづらさの頻度	毎日、1週間に3～6日程度、1週間に1～2日程度、等
7. 日常生活動作等の状況	ADL、IADL、身の回りの管理、意思疎通
8. 医療的ケアの状況	医療的ケアを受けていない、受けている（経管栄養、導尿、等）
9. 障害の原因	病気、事故・けが、災害、等
10. 自覚症状	全身症状、精神症状、視覚・聴覚の症状、等
11. 病気の種類	内分泌・代謝系、精神・神経、視覚・聴覚、等
12. 医療機関の受診状況	1週間に4回以上、1週間に1～3回、入院中、等
13. 公費負担医療制度の利用状況	利用している、利用したいが利用できない、利用していない
14. 障害者手帳を持っていない理由	障害の種類や程度が基準にあてはまらない、等
15. 介護保険法に基づくサービス利用状況	利用している、利用したいが利用できない、利用していない
16. 日常生活の支援状況	福祉サービスを利用、家族等の支援、その他の支援
17. 福祉サービスの平均利用時間（1週間）	5時間以内、6～10時間、11～15時間、等
18. 福祉サービスの利用希望	毎日、1週間に3～6日、1週間に1～2日、等
19. 福祉サービスの利用希望時間（1週間）	5時間以内、6～10時間、11～15時間、等
20. 日中の過ごし方の状況	正職員、正職員以外、自営業、等
21. 今後の日中の過ごし方の希望	正職員、正職員以外、自営業、等
22. 外出の状況	毎日、1週間に3～6回、1週間に1～2日、等
23. 外出時の支援の必要性	いつも必要、慣れた場所以外は必要、いつも一人で外出できる、等
24. 一人で外出できない場合の外出方法	福祉サービスを利用、移送サービスを利用、家族の付添い、等
25. 外出する際にどの程度福祉サービスを利用したいか	利用したい（毎日、1週間に3～6日程度、等）、利用を希望していない、分からない
26. 一月当たりの平均収入	0円以上～1万円未満、1万円以上～3万円未満、等
27. 住民税、所得税及び生活保護の状況	住民税（課税無し、課税あり）、所得税、生活保護
28. 一月当たりの平均支出	0円以上～1万円未満、1万円以上～3万円未満、等
29. 通所サービス等利用時の食事の提供の有無	提供を受けている（0円以上～1万円未満、1万円以上～3万円未満、3万円以上～6万円未満、等）、提供を受けていない
30. 困った時の相談相手	相談相手あり（行政機関、医療機関、等）、誰にも相談できない
31. 生活のしづらさ及び福祉サービスの利用等の状況	障害による日常生活を送る上での生活のしづらさの有無、福祉サービス利用の有無、福祉サービス利用の希望

表2 身体障害者手帳の保持と等級 N (%)

	手帳を持っている と回答した者	等級を記載した者	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	不詳
身体障害者手帳保持	7862									
視覚障害	642 (100.0)	216 (33.6)	185 (28.8)	64 (10.0)	63 (9.8)	67 (10.4)	47 (7.3)	-	-	0 (0.0)
聴覚障害	562 (100.0)	-	186 (33.1)	84 (14.9)	100 (17.8)	-	192 (34.2)	-	-	0 (0.0)
平衡機能障害	35 (100.0)	-	-	20 (57.1)	-	15 (42.9)	-	-	-	0 (0.0)
音声・言語・そしゃく機能障害	124 (100.0)	-	-	83 (66.9)	41 (33.1)	-	-	-	-	0 (0.0)
肢体不自由(上肢)	1484 (100.0)	283 (19.1)	474 (31.9)	332 (22.4)	207 (13.9)	78 (5.3)	59 (4.0)	49 (3.3)	2 (0.1)	0 (0.0)
肢体不自由(下肢)	2672 (100.0)	352 (13.2)	463 (17.3)	655 (24.5)	862 (32.3)	219 (8.2)	87 (3.3)	34 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
肢体不自由(体幹)	564 (100.0)	183 (32.4)	179 (31.7)	123 (21.8)	-	79 (14.0)	-	-	-	0 (0.0)
肢体不自由(脳原性運動機能障害・上肢機能)	176 (100.0)	66 (37.5)	58 (33.0)	22 (12.5)	13 (7.4)	8 (4.5)	5 (2.8)	4 (2.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
肢体不自由(脳原性運動機能障害・移動機能)	130 (100.0)	54 (41.5)	34 (26.2)	19 (14.6)	10 (7.7)	5 (3.8)	3 (2.3)	5 (3.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
心臓機能障害	1252 (100.0)	882 (70.4)	-	230 (18.4)	140 (11.2)	-	-	-	-	0 (0.0)
呼吸器機能障害	166 (100.0)	59 (35.5)	-	84 (50.6)	23 (13.9)	-	-	-	-	0 (0.0)
じん臓機能障害	450 (100.0)	405 (90.0)	-	20 (4.4)	25 (5.6)	-	-	-	-	0 (0.0)
ぼうこう・直腸機能障害	263 (100.0)	15 (5.7)	-	25 (9.5)	223 (84.8)	-	-	-	-	0 (0.0)
小腸機能障害	24 (100.0)	4 (16.7)	-	4 (16.7)	16 (66.7)	-	-	-	-	0 (0.0)
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害	14 (100.0)	7 (50.0)	2 (14.3)	4 (28.6)	1 (7.1)	-	-	-	-	0 (0.0)
肝臓機能障害	21 (100.0)	12 (57.1)	4 (19.0)	4 (19.0)	1 (4.8)	-	-	-	-	0 (0.0)
総合判定	1207 (100.0)	446 (37.0)	375 (31.1)	156 (12.9)	147 (12.2)	55 (4.6)	28 (2.3)	-	-	0 (0.0)

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省)データを使用

表3 療育手帳の保持と等級 N (%)

	手帳を持っている と回答した者	等級を記載した者	重度	その他	不詳
療育手帳保持	1265				
		1109 (100.0)	492 (44.4)	617 (55.6)	0 (0.0)

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省)データを使用

表4 精神障害者保健福祉手帳の保持と等級 N (%)

	手帳を持っている と回答した者	等級を記載した者	1級	2級	3級	不詳
精神障害者保健福祉手帳保持	1155					
		1114 (100.0)	233 (20.9)	618 (55.5)	263 (23.6)	0 (0.0)

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省)データを使用

表5 回答者の所持する手帳の種別

手帳種別	度数	パーセント
手帳なし	4669	32.8
身体のみ	7280	51.1
療育のみ	880	6.2
精神のみ	768	5.4
身体&療育	259	1.8
身体&精神	261	1.8
療育&精神	64	0.4
身体&療育&精神	62	0.4
合計	14243	100
身体手帳(重複あり)	7862	55.2
療育手帳(重複あり)	1265	8.9
精神手帳(重複あり)	1155	8.1

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省)データを使用

表6 身体障害者手帳所持者の障害種別の内訳

	度数	パーセント
身体障害者手帳なし	6381	44.8
不明	1178	8.3
小計	7559	53.1
視覚	529	3.7
聴覚	476	3.3
視覚・聴覚	12	0.1
音声言語	53	0.4
視覚・音声言語	3	0.0
聴覚・音声言語	10	0.1
視覚・聴覚・音声言語	3	0.0
肢体不自由	3364	23.8
視覚・肢体不自由	45	0.3
聴覚・肢体不自由	44	0.3
視覚・聴覚・肢体不自由	2	0.0
音声言語・肢体不自由	41	0.3
視覚・聴覚・音声言語・肢体不自由	3	0.0
内部障害	1893	13.3
視覚・内部	32	0.2
聴覚・内部	24	0.2
視覚・聴覚・内部	2	0.0
音声言語・内部	4	0.0
肢体不自由・内部	126	0.9
視覚・肢体不自由・内部	6	0.0
聴覚・肢体不自由・内部	4	0.0
視覚・聴覚・肢体不自由・内部	1	0.0
音声言語・肢体不自由・内部	1	0.0
視覚・聴覚・音声言語・肢体不自由・内部	2	0.0
視覚・聴覚・音声言語・肢体不自由・内部	4	0.0
小計	6684	46.9
合計	14243	100

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省)データを使用

表7 盲ろう(視覚障害と聴覚障害の重複障害)における他の障害者手帳所持状況と手帳以外の6種の障害特性の関係

		障害者手帳以外の障害							
		発達障害							
		高次脳機能障害			高次脳機能障害		知的障害	認知症	
		合計	なし	難病	能障害	機能障害	知的障害	認知症	
視覚障害・聴覚障害の重複障害者(身体障害者手帳所持)		27	15	2	5	2	2	1	
身体障害者手帳以外の 手帳の所持	度数	視覚・聴覚障害以外の身体障害							
なし	19	なし	8	5	2	0	0	1	0
		音声言語・肢体不自由・内部	3	2	0	1	0	0	0
		音声言語	2	2	0	0	0	0	0
		肢体不自由	2	1	0	0	0	1	0
		内部	2	2	0	0	0	0	0
		音声言語・肢体不自由	1	0	0	0	0	0	1
		肢体不自由・内部	1	1	0	0	0	0	0
療育手帳	1	1	0	0	1	0	0	0	
精神障害者 保健福祉手帳	4	なし	2	1	0	1	0	0	0
		音声言語	1	0	0	1	0	0	0
		音声言語・肢体不自由・内部	1	0	0	1	0	0	0
療育手帳・ 精神障害者 保健福祉手帳	3	なし	2	1	0	0	1	0	0
		音声言語・肢体不自由	1	0	0	0	1	0	0

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省)データを使用

表8 障害者手帳以外の障害特性

手帳以外の障害	度数	パーセント
なし	11779	82.7
高次脳機能障害	502	3.5
発達障害	488	3.4
認知症	476	3.3
難病	474	3.3
知的障害	142	1.0
小児慢性	21	0.1
高次・認知症	108	0.8
発達・知的	50	0.4
発達・高次	48	0.3
高次・知的	40	0.3
発達・高次・知的	25	0.2
知的・認知症	22	0.2
難病・高次	17	0.1
知的・認知症・高次	15	0.1
難病・認知症	9	0.1
難病・発達	6	0
難病・小慢	6	0
発達・高次・認知症	3	0
難病・知的	2	0
難病・高次・認知症	2	0
発達・高次・知的・認知症	2	0
難病・発達・高次	1	0
小慢・知的	1	0
難病・小慢・知的	1	0
難病・高次・知的	1	0
難病・発達・高次・知的	1	0
難病・知的・認知症・高次	1	0
小計	361	2.5
合計	14243	100

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省)データを使用

表9 障害者手帳非所持者の障害特性

手帳	身障内訳	手帳以外の障害	度数	
手帳なし	なし	なし	3804	81.5
		認知症	293	6.3
		難病	166	3.6
		高次脳機能障害	116	2.5
		発達障害	91	1.9
		知的障害	47	1.0
		小児慢性	8	0.2
		重複合計	152	3.3
		合計	4677	100
			高次・認知症	61
	発達・知的		28	0.6
	高次・知的		14	0.3
	知的・認知症		13	0.3
	小児慢性		8	0.2
	発達・高次・知的		7	0.1
	知的・認知症・高次		6	0.1
	発達・高次		4	0.1
	難病・高次		3	0.1
	難病・認知症		2	0.0
	難病・小慢	2	0.0	
発達・高次・知的・認知症	1	0.0		
難病・発達	1	0.0		
難病・知的	1	0.0		
難病・小慢・知的	1	0.0		

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省)データを使用

表10 障害児手帳所持表における他の障害特性の分布

手帳	身体内訳	予備以外の障害																			
		なし	聴覚	小児慢性	発達障害	聴覚・発達	聴覚・小児	高次脳機能	聴覚・高次	発達・高次	聴覚・発達・高次	知的障害	聴覚・知的	小児・知的	発達・知的	聴覚・発達・知的	高次・知的	聴覚・高次・知的	発達・高次・知的	聴覚・発達・高次・知的	その他
児童なし	なし	3504	165	8	91	1	2	116	3	4	0	47	1	0	28	1	14	0	2	0	293
身体のみ	不明	830	42	0	4	0	0	52	2	1	0	11	0	0	0	0	0	3	0	23	
	視覚	435	25	0	0	0	0	6	1	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	10	
	聴覚・発達	415	7	0	3	1	0	5	0	0	0	5	0	0	1	0	0	0	0	22	
	視覚・聴覚	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	音声言語	44	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	知覚	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	視覚・発達	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	聴覚・発達	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	視覚・聴覚	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発達・高次	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	聴覚・発達・高次	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	知的障害	2639	117	2	6	1	0	185	9	2	0	25	1	0	2	0	6	1	6	0	66
	聴覚・知的	20	3	0	0	0	0	4	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	小児・知的	35	3	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	発達・知的	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	聴覚・発達・知的	25	1	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	高次・知的	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	聴覚・高次・知的	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発達・高次・知的	1651	60	2	3	0	0	30	0	0	0	6	0	0	2	0	2	0	1	0	35
	聴覚・発達・高次	23	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
知的障害	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
聴覚・知的	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
小児・知的	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
発達・知的	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
聴覚・発達・知的	96	6	1	0	0	0	6	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
高次・知的	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
聴覚・高次・知的	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
発達・高次・知的	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
聴覚・発達・高次・知的	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
児童のみ	なし	544	9	5	290	2	1	6	0	15	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
精神のみ	なし	635	1	0	33	1	0	30	0	5	0	21	0	0	11	0	10	0	4	13	
身体と精神	不明	45	1	0	6	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	視覚	11	0	0	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	聴覚・発達	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	視覚・聴覚	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	知覚	107	0	1	10	0	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	聴覚・発達	4	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	聴覚・高次	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	聴覚・発達・高次	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	知的障害	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	聴覚・知的	20	2	0	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小児・知的	7	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発達・知的	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	聴覚・発達・知的	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	高次・知的	91	3	0	0	0	0	10	0	1	0	6	0	0	2	0	2	0	0	1	
	聴覚・高次・知的	13	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
発達・高次・知的	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
聴覚・発達・高次	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
知覚	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
聴覚・知覚	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
聴覚・発達・知覚	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
発達・知覚	41	0	0	1	0	0	9	1	0	0	3	0	0	3	0	0	0	1	1		

表13 障害者手帳所持者のサービス利用率

		自立支援法による福祉サービスの利用状況						介護保険法によるサービス利用状況							
		利用している		利用したいが、利用できない		利用していない		合計	利用している		利用したいが、利用できない		利用していない		合計
		度数	%	度数	%	度数	%	合計	度数	%	度数	%	度数	%	合計
手帳	手帳なし	468	10.2	134	2.9	3988	86.9	4590	1359	34.5	99	2.5	2481	63.0	3939
	身体のみ	1435	23.4	113	1.8	4579	74.7	6127	2056	36.2	87	1.5	3544	62.3	5687
	療育のみ	419	53.2	15	1.9	353	44.9	787	29	16.7	9	5.2	136	78.2	174
	精神のみ	239	35.7	32	4.8	398	59.5	669	69	17.9	11	2.8	306	79.3	386
	身体&療育	180	75.6	5	2.1	53	22.3	238	18	26.5	6	8.8	44	64.7	68
	身体&精神	115	51.6	6	2.7	102	45.7	223	86	50.3	4	2.3	81	47.4	171
	療育&精神	26	51.0	0	0.0	25	49.0	51	3	13.6	0	0.0	19	86.4	22
	身体&療育&精神	36	66.7	3	5.6	15	27.8	54	19	55.9	1	2.9	14	41.2	34
	手帳所持者合計	2450	30.1	174	2.1	5525	67.8	8149	2280	34.9	118	1.8	4144	63.3	6542

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省)データを使用

表14 障害者手帳非所持者のサービス利用率

		自立支援法による福祉サービスの利用状況						介護保険法によるサービス利用状況							
		利用している		利用したいが、利用できない		利用していない		合計	利用している		利用したいが、利用できない		利用していない		合計
		度数	%	度数	%	度数	%	合計	度数	%	度数	%	度数	%	合計
手帳以外 の障害	なし	2160	20.6	241	2.3	8084	77.1	10485	2623	29.8	175	2.0	6001	68.2	8799
	難病	81	19.1	11	2.6	331	78.3	423	133	34.8	11	2.9	238	62.3	382
	小児慢性	5	23.8	2	9.5	14	66.7	21	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1
	難病+小児慢性	86	19.4	13	2.9	345	77.7	444	133	34.7	11	2.9	239	62.4	383
	発達障害	203	44.2	16	3.5	240	52.3	459	16	23.5	4	5.9	48	70.6	68
	高次脳機能障害	187	41.5	14	3.1	250	55.4	451	290	67.1	12	2.8	130	30.1	432
	認知症	85	19.5	9	2.1	342	78.4	436	362	79.0	8	1.7	88	19.2	458
	知的障害	51	38.6	0	0.0	81	61.4	132	37	40.7	1	1.1	53	58.2	91
	難病・発達	3	60.0	0	0.0	2	40.0	5	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1
	難病・小慢	3	50.0	0	0.0	3	50.0	6	0	0	0	0	0	0	
	難病・高次	9	56.3	0	0.0	7	43.8	16	13	81.3	0	0.0	3	18.8	16
	発達・高次	26	60.5	2	4.7	15	34.9	43	9	56.3	1	6.3	6	37.5	16
	難病・発達・高次	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1
	難病・知的	1	50.0	0	0.0	1	50.0	2	1	50.0	0	0.0	1	50.0	2
	小慢・知的	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1
	発達・知的	16	32.7	4	8.2	29	59.2	49	4	36.4	1	9.1	6	54.5	11
	難病・小慢・知的	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1	0	0	0	0	0	0	
	高次・知的	18	51.4	0	0.0	17	48.6	35	20	62.5	1	3.1	11	34.4	32
	難病・高次・知的	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1
	発達・高次・知的	6	28.6	5	23.8	10	47.6	21	7	38.9	2	11.1	9	50.0	18
	難病・発達・高次・知的	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1
	難病・認知症	1	16.7	0	0.0	5	83.3	6	6	75.0	0	0.0	2	25.0	8
	高次・認知症	30	29.7	2	2.0	69	68.3	101	83	80.6	0	0.0	20	19.4	103
	難病・高次・認知症	2	100.0	0	0.0	0	0.0	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	2
	発達・高次・認知症	2	66.7	0	0.0	1	33.3	3	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1
	知的・認知症	11	50.0	1	4.5	10	45.5	22	14	73.7	0	0.0	5	26.3	19
	知的・認知症・高次	12	92.3	0	0.0	1	7.7	13	13	92.9	0	0.0	1	7.1	14
	難病・知的・認知症・高次	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1
	発達・高次・知的・認知	2	100.0	0	0.0	0	0.0	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	2
	4項目重複小計	146	44.0	15	4.5	171	51.5	332	178	71.2	6	2.4	66	26.4	250

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省)データを使用

生活のしづらさなどに関する調査の詳細統計の作成準備
～国民生活基礎調査との比較について～

研究分担者 高橋 競 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
研究分担者 北村弥生 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
研究代表者 岩谷 力 国立障害者リハビリテーションセンター
研究協力者 熊本圭吾 四徳学園

研究要旨

厚生労働省による「平成23年生活のしづらさなどに関する調査（全国在宅障害児・者等実態調査）」（以下、生活のしづらさ調査）に設けられた国民生活基礎調査と類似の調査項目（問10）について、国民生活基礎調査との比較が可能か否かを検討した。その結果、国民生活基礎調査は過去数日（あるいは現在）の急性疾患の有無を質問したのに対し、「生活のしづらさ調査」は過去6か月間の身体と精神の不具合の有無を質問したことから、単純な比較はできないことが明らかになった。また、問10は障害を含めた「生活のしづらさ」を、医学的な診断とは別の方法で抽出すると期待され、障害者手帳所持者は障害の原因疾患（疾患名でなく眼の病気、腎臓の病気等）や症状（ものが見えにくい・見えない等）を選択すると予想されたが、多くても4割程度しか選択しなかった。これらの結果から、第一に、「生活のしづらさ調査」の問10は国民生活基礎調査の結果と比較することは適切ではないと考えられた。国民生活基礎調査の結果との比較を可能にするためには、2つの方法が考えられる。一つ目は、全国障害者実態調査等において、国民生活基礎調査と同じ調査項目により、障害者手帳所持者における急性疾患罹患率を明らかにし、国民生活基礎調査の結果と比較することである。二つ目は、国民生活基礎調査において「障害がある者」を抽出する調査項目を設定することである。第二に、医学的あるいは制度的な指標と整合性のある「生活のしづらさ」を抽出するための障害統計の尺度の検討を継続する必要性が示唆された。

A. 目的

厚生労働省による「平成23年生活のしづらさなどに関する調査（全国在宅障害児・者等実態調査）」（以下、生活のしづらさ調査）では、国民生活基礎調査と類似の調査項目（問10）をもうけ、国民生活基礎調査との比較を意図したことが報告されているが[4]、その比較結果は示されていない。

そこで、本研究では、「生活のしづらさ調査」の問10の詳細統計を作成し、この設問への結果は国民生活基礎調査との比較が可能か、および、医学的あるいは制度的な指標と整合性があるかを明らかにすることを目的とする。初年度には、データへのラベル付けを行い、詳細統計に関わる全体把握を行った。

B. 方法

厚生労働省障害保健福祉部企画課より「生活のしづらさ調査」の有効回答 14,249 件の入力データを表計算ソフトエクセル (Microsoft 社) のデータ形式で提供を受けた。

東日本大震災の影響を考慮して、被害が甚大であった岩手県、宮城県、福島県、盛岡市、仙台市、郡山市、いわき市では調査は実施されなかった。また、調査票の配布方法が他と異なった大阪市 のデータは集計されておらず、調査票の配布と回収に関するデータもなかった。

3 年間の初年度として、統計解析ソフト SPSS (IBM 社) のデータ形式に変換し、データへのラベル付けを行い、国民生活基礎調査を参考に作成した調査項目問 10-(1) 及び問 10-(2) について、身体障害と精神障害に相当する選択肢とそれぞれの障害認定者との対応を計数した。

(倫理的配慮)

本研究は、国立障害者リハビリテーションセンター研究倫理審査委員会に申請し(平成 26 年 8 月)、「非該当」と判断された。本研究で提供を受けたデータには、個人の氏名、住所は含まれておらず、個人の特定はできないためである。しかし、調査実施時に対象者には、調査の目的を「統計の作成」と説明しているため、本研究は詳細統計の作成に範囲をとどめ、二次解析を行うものではないことが確認された。

C. 結果

表 1～5 に、身体障害者手帳所持者と手帳非所持者の障害種別と問 10-(1) における対応する症状の対応関係を示した。また、表 6～16 に、身体障害者手帳所持者および精神障害者保健福祉手帳所持者の障害種別と問 10-(2) における対応する疾患の対応関係を示した。

問 10 では「おおよそ 6 ヶ月以内に、身体と精神に具合の悪いところはあったか。(一時的な風邪やけがによるものは除く)」を尋ね、(1)はその症状を、(2)はその原因疾患を選択肢から選ぶことを依頼した。

手帳所持者に想定される症状では、呼吸器機能障害で「息切れ」を選択した者 38.6%、聴覚障害の身体障害者手帳所持者で「聞こえにくい・聞こえない」36.8%が最高で、肢体不自由では「関節の動きが悪い」19.9%が最高であった。精神障害から主として想定される症状は特定できなかった。

手帳所持者に想定される原因疾患では、呼吸器機能障害者で「肺・気管支関係の病気」59.0%、腎臓昨日障害者で「腎臓の病気」53.6%が最高で、肢体不自由の中では「脳卒中」32.4%が最も高かった。精神障害者保健福祉手帳所持者のうち 48.3%は、「その他の精神疾患」も含めた 8 つの精神疾患を選択しなかった。

表 17～32 には障害等級による選択率を示し、障害等級が高い(等級の数値が小さい)場合に症状と原因疾患の記入が多いわけではないことを示した。

手帳非所持者については、症状では「手足の関節の動きが悪い・痛い」9.8%が最高で、原因疾患では「脳卒中」6.6%が最高であった。

D. 考察

(1) 国民生活基礎調査との比較可能性について

「生活のしづらさ調査」の問 10 は、国民生活基礎調査と類似の調査項目であったが、条件とする状態が異なった。すなわち、国民生活基礎調査健康票では「ここ数日、病気やけがなどで体の具合の悪いところはありますか」「現在、傷病で病院や診療所、あんま・はり・きゅう・柔道整復師に通っていますか」と質問し、急性疾患を抽出しているのに対して、「生活のしづらさ調査」では、「おお

むね6ヶ月以内に、身体的又は精神的に具合が悪いところがありましたか」「その症状」「どのような病気で体の具合が悪い状態が生じていますか」と慢性疾患を抽出しており、2つの調査での抽出対象には、健康状態を害する期間、症状および原因の関連付けに差があった。

従って、「生活のしづらさ調査」の間10の結果を国民生活基礎調査の結果と比較することは適切ではないと考えられた。生活のしづらさのある者の急性疾患率を国民全体と比較するためには、全国障害者実態調査等において、国民生活基礎調査と同じ調査項目により、障害者手帳所持者における急性疾患罹患率を明らかにし、国民生活基礎調査の結果と比較することが適切と考える。あるいは、国民生活基礎調査において「障害者手帳所持者」あるいは「障害および慢性疾患患者」を抽出する調査項目を設定することが有効と考える。

(2) 「過去6か月の症状」、「障害」、「生活のしづらさ」の関係

「生活のしづらさ」は、公的サービス対象の枠の一つである「障害認定区分」「障害者手帳所持」あるいは「公費負担医療」よりも広い概念と想定され、「サービスの谷間にある者の現状とニーズを知る」ことが「生活のしづらさ調査」のひとつの目的とされた[1]。しかし、問10では、65才未満では59.2%、65才以上では68.5%しか、「症状がある」と回答しなかった。このことから、この設問による「症状がある」ことは「生活のしづらさ」の一部でしかなかったと考えられる。

また、問10では、障害者手帳所持者の4割程度しか「症状がある」と回答しなかった。その理由として推測されるのは、障害は過去6か月に限った症状でないと判断されたことである。例えば、

視覚障害者は、「ものが見えづらい・見えない」ことは6か月よりも長く続かため、「過去6か月の身体的又は精神的に具合が悪いところではない」と回答しても不思議はない。一方、視覚障害者の35%が「ものが見えづらい・見えない」を選択した理由には、「障害」を回答した場合と、障害認定を受けた目の症状に加えて、過去6か月間に、新たに眼疾患が発生したり、進行したことを回答した場合が考えられる。

F. 研究発表

なし

G 引用文献

- 1) 平野方詔. 厚生労働科学研究「障害者の生活実態及びニーズ等を把握するための調査手法開発に関する研究」報告書(概要)(抄). 2011.

表1 身体障害者手帳保持（視覚障害）者と問10-（1）「ものが見づらい・見えない」の関係（手帳有無別） N（％）

		ものが見づらい・見えない				左記症状なし	
視覚障害	手帳あり	642	(100.0)	223	(34.7)	419	(65.3)
	手帳なし	13,601	(100.0)	817	(6.0)	12,784	(94.0)

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」（厚生労働省）のデータから作成

表2 身体障害者手帳保持（聴覚障害）者と問10-（1）「聞こえにくい・聞こえない」の関係（手帳有無別） N（％）

		聞こえにくい・聞こえない				左記症状なし	
聴覚障害	手帳あり	562	(100.0)	207	(36.8)	355	(63.2)
	手帳なし	13,681	(100.0)	961	(7.0)	12,720	(93.0)

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」（厚生労働省）のデータから作成

表3 身体障害者手帳保持（音声・言語・そしゃく機能障害）者と問10-（1）「声がでない、音声・言語がはっきりしない、音声・言語が話せない、かみにくい・飲み込みにくい」の関係（手帳有無別） N（％）

		声がでない		音声・言語がはっきりしない		音声・言語が話せない		かみにくい・飲み込みにくい		左記症状いずれもなし			
音声・言語・そしゃく機能障害	手帳あり	124	(100.0)	15	(12.1)	10	(8.1)	10	(8.1)	7	(5.6)	88	(71.0)
	手帳なし	14,119	(100.0)	80	(0.6)	333	(2.4)	124	(0.9)	339	(2.4)	13,343	(94.5)

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」（厚生労働省）のデータから作成

表4 身体障害者手帳保持（呼吸器・心臓機能障害）者と問10-（1）「動悸・息切れ・胸痛」の関係（手帳有無別） N（％）

		動悸		息切れ		胸痛		左記症状いずれもなし			
呼吸器機能障害	手帳あり	166	(100.0)	20	(12.0)	64	(38.6)	4	(2.4)	99	(59.6)
	手帳なし	14,077	(100.0)	472	(3.4)	443	(3.1)	192	(1.4)	13,190	(93.7)
心臓機能障害	手帳あり	1,252	(100.0)	158	(12.6)	150	(12.0)	64	(5.1)	994	(79.4)
	手帳なし	12,991	(100.0)	334	(2.6)	357	(2.7)	132	(1.0)	12,295	(94.6)

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」（厚生労働省）のデータから作成

表5 身体障害者手帳保持（肢体不自由）者と問10-（1）「手足の関節の動きが悪い・痛い、手足の動きが悪い・痛い、手足のしびれ・まひ、手足の切断」の関係（手帳有無別） N（%）

				手足の関節の動きが悪い・痛い	手足の動きが悪い・痛い	手足のしびれ・まひ	手足の切断	左記症状いずれもなし	
肢体不自由(上肢)	手帳あり	1,484	(100.0)	223 (15.0)	210 (14.2)	187 (12.6)	17 (1.1)	1,011	(68.2)
	手帳なし	12,759	(100.0)	1,169 (9.2)	993 (7.8)	659 (5.2)	25 (0.2)	10,451	(81.9)
肢体不自由(下肢)	手帳あり	2,672	(100.0)	533 (19.9)	407 (15.2)	291 (10.9)	19 (0.7)	1,726	(64.6)
	手帳なし	11,571	(100.0)	859 (7.4)	796 (6.9)	555 (4.8)	23 (0.2)	9,738	(84.2)
肢体不自由(体幹)	手帳あり	564	(100.0)	47 (8.3)	88 (15.6)	58 (10.3)	0 (0.0)	410	(72.2)
	手帳なし	13,679	(100.0)	1,345 (9.8)	1,115 (8.2)	788 (5.8)	42 (0.3)	11,054	(80.8)
肢体不自由(脳原性運動機能障害・上肢機能)	手帳あり	176	(100.0)	13 (7.4)	23 (13.1)	11 (6.3)	0 (0.0)	136	(77.3)
	手帳なし	14,067	(100.0)	1,379 (9.8)	1,180 (8.4)	835 (5.9)	42 (0.3)	11,328	(80.5)
肢体不自由(脳原性運動機能障害・移動機能)	手帳あり	130	(100.0)	10 (7.7)	16 (12.3)	11 (8.5)	0 (0.0)	97	(74.6)
	手帳なし	14,113	(100.0)	1,382 (9.8)	1,187 (8.4)	835 (5.9)	42 (0.3)	11,367	(80.5)

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省)のデータから作成

表6 身体障害者手帳保持（視覚障害）者と問10-（2）「眼の病気」の関係（手帳有無別） N（%）

				眼の病気	左記病気なし
視覚障害	手帳あり	642	(100.0)	262 (40.8)	380 (59.2)
	手帳なし	13,601	(100.0)	817 (6.0)	12,784 (94.0)

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省)のデータから作成

表7 身体障害者手帳保持（聴覚障害）者と問10-（2）「耳の病気」の関係（手帳有無別） N（%）

				耳の病気	左記病気なし
聴覚障害	手帳あり	562	(100.0)	196 (34.9)	366 (65.1)
	手帳なし	13,681	(100.0)	515 (3.8)	13,166 (96.2)

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省)のデータから作成

表8 身体障害者手帳保持（呼吸器機能障害）者と問10-（2）「肺・気管支関係の病気」の関係（手帳有無別） N（%）

				肺・気管支関係の病気	左記病気なし
呼吸器機能障害	手帳あり	166	(100.0)	98 (59.0)	68 (41.0)
	手帳なし	14,077	(100.0)	469 (3.3)	13,608 (96.7)

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省)のデータから作成

表9 身体障害者手帳保持（心臓機能障害）者と問10-（2）「狭心症・心筋梗塞、その他の循環器系の病気」の関係（手帳有無別） N（%）

				狭心症・心筋梗塞	その他の循環器系の病気	左記病気いずれもなし
心臓機能障害	手帳あり	1,252	(100.0)	259 (20.7)	272 (21.7)	752 (60.1)
	手帳なし	12,991	(100.0)	356 (2.7)	264 (2.0)	12,387 (95.4)

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省)のデータから作成

表 1 0 身体障害者手帳保持（じん臓機能障害）者と問 1 0 - (2) 「腎臓の病気」の関係（手帳有無別） N (%)

				腎臓の病気	左記病気なし
じん臓機能障害	手帳あり	450	(100.0)	241 (53.6)	209 (46.4)
	手帳なし	13,793	(100.0)	228 (1.7)	13,565 (98.3)

平成 23 年度「生活のしづらさなどに関する調査」（厚生労働省）のデータから作成

表 1 1 身体障害者手帳保持（ぼうこう・直腸機能障害）者と問 1 0 - (2) 「ぼうこうの病気、大腸・直腸の病気」の関係（手帳有無別） N (%)

				ぼうこうの病気	大腸・直腸の病気	左記病気いずれもなし
ぼうこう・直腸機能障害	手帳あり	263	(100.0)	22 (8.4)	86 (32.7)	160 (60.8)
	手帳なし	13,980	(100.0)	126 (0.9)	194 (1.4)	13,664 (97.7)

平成 23 年度「生活のしづらさなどに関する調査」（厚生労働省）のデータから作成

表 1 2 身体障害者手帳保持（小腸機能障害）者と問 1 0 - (2) 「小腸の病気」の関係（手帳有無別） N (%)

				小腸の病気	左記病気なし
小腸機能障害	手帳あり	24	(100.0)	9 (37.5)	15 (62.5)
	手帳なし	14,219	(100.0)	28 (0.2)	14,191 (99.8)

平成 23 年度「生活のしづらさなどに関する調査」（厚生労働省）のデータから作成

表 1 3 身体障害者手帳保持（肝臓機能障害）者と問 1 0 - (2) 「肝臓・胆のうの病気」の関係（手帳有無別） N (%)

				肝臓・胆のうの病気	左記病気なし
肝臓機能障害	手帳あり	21	(100.0)	6 (28.6)	15 (71.4)
	手帳なし	14,222	(100.0)	194 (1.4)	14,028 (98.6)

平成 23 年度「生活のしづらさなどに関する調査」（厚生労働省）のデータから作成

表 1 4 身体障害者手帳保持（ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害）者と問 1 0 - (2) 「免疫の病気」の関係（手帳有無別） N (%)

				免疫の病気	左記病気なし
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害	手帳あり	14	(100.0)	3 (21.4)	11 (78.6)
	手帳なし	14,229	(100.0)	86 (0.6)	14,143 (99.4)

平成 23 年度「生活のしづらさなどに関する調査」（厚生労働省）のデータから作成

表 1 5 身体障害者手帳保持（肢体不自由）者と問 1 0 - (2) 「リウマチ性疾患、関節症、その他の筋骨格系の病気、脳卒中」の関係（手帳有無別） N (%)

				リウマチ性		関節症		その他の筋骨格系の病気		脳卒中		左記病気いずれもなし	
肢体不自由(上肢)	手帳あり	1,484	(100.0)	142	(9.6)	66	(4.4)	31	(2.1)	310	(20.9)	974	(65.7)
	手帳なし	12,759	(100.0)	245	(1.9)	687	(5.4)	186	(1.5)	678	(5.3)	11,074	(86.8)
肢体不自由(下肢)	手帳あり	2,672	(100.0)	168	(6.3)	304	(11.4)	80	(3.0)	359	(13.4)	1,833	(68.6)
	手帳なし	11,571	(100.0)	219	(1.9)	449	(3.9)	137	(1.2)	629	(5.4)	10,217	(88.3)
肢体不自由(体幹)	手帳あり	564	(100.0)	21	(3.7)	21	(3.7)	24	(4.3)	89	(15.8)	418	(74.1)
	手帳なし	13,679	(100.0)	366	(2.7)	732	(5.4)	193	(1.4)	899	(6.6)	11,632	(85.0)
肢体不自由(脳原性運動機能障害・上肢機能)	手帳あり	176	(100.0)	4	(2.3)	4	(2.3)	1	(0.6)	57	(32.4)	112	(63.6)
	手帳なし	14,067	(100.0)	383	(2.7)	749	(5.3)	216	(1.5)	931	(6.6)	11,938	(84.9)
肢体不自由(脳原性運動機能障害・移動機能)	手帳あり	130	(100.0)	5	(3.8)	6	(4.6)	3	(2.3)	43	(33.1)	80	(61.5)
	手帳なし	14,113	(100.0)	382	(2.7)	747	(5.3)	214	(1.5)	945	(6.7)	11,970	(84.8)

平成 23 年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省)のデータから作成

表 1 6 精神保健福祉手帳所持者と問 1 0 - (2) 「気分障害、神経症性障害、統合失調症、摂食障害、睡眠障害、アルコール・薬物依存、認知症、その他の精神疾患、およびこれらの合計」の関係（手帳有無別） N (%)

		気分障害	神経症性障害	統合失調症	摂食障害	睡眠障害	アルコール・薬物依存	認知症	その他の精神疾患	左記いずれもなし
精神障害										
手帳あり		1,155	237	153	286	25	117	14	29	35
		(100.0)	(20.5)	(13.2)	(24.8)	(2.2)	(10.1)	(1.2)	(2.5)	(3.0)
手帳なし		13,088	439	332	102	53	409	51	609	45
		(100.0)	(3.4)	(2.5)	(0.8)	(0.4)	(3.1)	(0.4)	(4.7)	(0.3)

平成 23 年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省)のデータから作成

表 1 7 身体障害者手帳保持（視覚障害）者と問 1 0 - (1) 「ものが見づらい・見えない」の関係（等級別） N (%)

		ものが見づらい・見えない		左記症状なし	
視覚障害		642	(100.0)	223	(34.7)
1 級		216	(100.0)	60	(27.8)
2 級		185	(100.0)	71	(38.4)
3 級		64	(100.0)	21	(32.8)
4 級		63	(100.0)	17	(27.0)
5 級		67	(100.0)	33	(49.3)
6 級		47	(100.0)	21	(44.7)

平成 23 年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省)のデータから作成

表18 身体障害者手帳保持（聴覚障害）者と問10-（1）「聞こえにくい・聞こえない」の関係（等級別） N（%）

		聞こえにくい・聞こえない		左記症状なし	
聴覚障害	562 (100.0)	207 (36.8)	355 (63.2)		
2級	186 (100.0)	54 (29.0)	132 (71.0)		
3級	84 (100.0)	39 (46.4)	45 (53.6)		
4級	100 (100.0)	38 (38.0)	62 (62.0)		
6級	192 (100.0)	76 (39.6)	116 (60.4)		

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」（厚生労働省）のデータから作成

表19 身体障害者手帳保持（音声・言語・そしゃく機能障害）者と問10-（1）「声がでない、音声・言語がはっきりしない、音声・言語が話せない、かみにくい・飲み込みにくい」の関係（等級別） N（%）

		声がでない	音声・言語がはっきりしない	音声・言語が話せない	かみにくい・飲み込みにくい	左記症状いずれもなし
音声・言語・そしゃく機能障害	124 (100.0)	15 (12.1)	10 (8.1)	10 (8.1)	7 (5.6)	88 (71.0)
3級	83 (100.0)	13 (15.7)	6 (7.2)	11 (13.3)	5 (6.0)	55 (66.3)
4級	41 (100.0)	2 (4.9)	4 (9.8)	2 (4.9)	2 (4.9)	33 (80.5)

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」（厚生労働省）のデータから作成

表20 身体障害者手帳保持（呼吸器・心臓機能障害）者と問10-（1）「動悸・息切れ・胸痛」の関係（等級別） N（%）

		動悸	息切れ	胸痛	左記症状いずれもなし
呼吸器機能障害	166 (100.0)	20 (12.0)	64 (38.6)	4 (2.4)	99 (59.6)
1級	59 (100.0)	6 (10.2)	20 (33.9)	1 (1.7)	38 (64.4)
3級	84 (100.0)	12 (14.3)	40 (47.6)	2 (2.4)	43 (51.2)
4級	23 (100.0)	2 (8.7)	4 (17.4)	1 (4.3)	18 (78.3)
心臓機能障害	1,252 (100.0)	158 (12.6)	150 (12.0)	64 (5.1)	994 (79.4)
1級	882 (100.0)	108 (12.2)	99 (11.2)	40 (4.5)	712 (80.7)
3級	230 (100.0)	33 (14.3)	41 (17.8)	15 (6.5)	168 (73.0)
4級	140 (100.0)	17 (12.1)	10 (7.1)	9 (6.4)	114 (81.4)

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」（厚生労働省）のデータから作成

表21 身体障害者手帳保持（肢体不自由）者と問10-（1）「手足の関節の動きが悪い・痛い、手足の動きが悪い・痛い、手足のしびれ・まひ、手足の切断」の関係（等級別） N（％）

		手足の関節の動きが悪い・痛い	手足の動きが悪い・痛い	手足のしびれ・まひ	手足の切断	左記症状いずれもなし
肢体不自由(上肢)	1,484 (100.0)	223 (15.0)	210 (14.2)	187 (12.6)	17 (1.1)	1,011 (68.2)
1級	283 (100.0)	32 (11.3)	31 (11.0)	30 (10.6)	1 (0.4)	211 (74.6)
2級	474 (100.0)	79 (16.7)	78 (16.5)	72 (15.2)	6 (1.3)	304 (64.1)
3級	332 (100.0)	37 (11.1)	41 (12.3)	38 (11.4)	4 (1.2)	241 (72.6)
4級	207 (100.0)	45 (21.7)	26 (12.6)	22 (10.6)	5 (2.4)	135 (65.2)
5級	78 (100.0)	14 (17.9)	12 (15.4)	2 (2.6)	0 (0.0)	57 (73.1)
6級	59 (100.0)	10 (16.9)	16 (27.1)	12 (20.3)	1 (1.7)	33 (55.9)
7級	49 (100.0)	6 (12.2)	6 (12.2)	11 (22.4)	0 (0.0)	30 (61.2)
肢体不自由(下肢)	2,672 (100.0)	533 (19.9)	407 (15.2)	291 (10.9)	19 (0.7)	1,726 (64.6)
1級	352 (100.0)	37 (10.5)	46 (13.1)	37 (10.5)	1 (0.3)	260 (73.9)
2級	463 (100.0)	90 (19.4)	101 (21.8)	71 (15.3)	2 (0.4)	271 (58.5)
3級	655 (100.0)	144 (22.0)	87 (13.3)	60 (9.2)	9 (1.4)	420 (64.1)
4級	862 (100.0)	188 (21.8)	120 (13.9)	80 (9.3)	6 (0.7)	560 (65.0)
5級	219 (100.0)	51 (23.3)	35 (16.0)	23 (10.5)	0 (0.0)	137 (62.6)
6級	87 (100.0)	17 (19.5)	13 (14.9)	11 (12.6)	1 (1.1)	56 (64.4)
7級	34 (100.0)	6 (17.6)	5 (14.7)	9 (26.5)	0 (0.0)	22 (64.7)
肢体不自由(体幹)	564 (100.0)	47 (8.3)	88 (15.6)	58 (10.3)	0 (0.0)	410 (72.7)
1級	183 (100.0)	14 (7.7)	15 (8.2)	12 (6.6)	0 (0.0)	147 (80.3)
2級	179 (100.0)	21 (11.7)	41 (22.9)	25 (14.0)	0 (0.0)	112 (62.6)
3級	123 (100.0)	10 (8.1)	27 (22.0)	16 (13.0)	0 (0.0)	82 (66.7)
5級	79 (100.0)	2 (2.5)	5 (6.3)	5 (6.3)	0 (0.0)	69 (87.3)
肢体不自由(脳原性運動機能障害・上肢機能)	176 (100.0)	13 (7.4)	23 (13.1)	11 (6.3)	0 (0.0)	136 (77.3)
1級	66 (100.0)	1 (1.5)	4 (6.1)	3 (4.5)	0 (0.0)	59 (89.4)
2級	58 (100.0)	8 (13.8)	11 (19.0)	5 (8.6)	0 (0.0)	39 (67.2)
3級	22 (100.0)	3 (13.6)	3 (13.6)	1 (4.5)	0 (0.0)	15 (68.2)
4級	13 (100.0)	1 (7.7)	3 (23.1)	1 (7.7)	0 (0.0)	9 (69.2)
5級	8 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (100.0)
6級	5 (100.0)	0 (0.0)	2 (40.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	2 (40.0)
7級	4 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (100.0)
肢体不自由(脳原性運動機能障害・移動機能)	130 (100.0)	10 (7.7)	16 (12.3)	11 (8.5)	0 (0.0)	97 (74.6)
1級	54 (100.0)	2 (3.7)	4 (7.4)	3 (5.6)	0 (0.0)	46 (85.2)
2級	34 (100.0)	3 (8.8)	6 (17.6)	4 (11.8)	0 (0.0)	22 (64.7)
3級	19 (100.0)	3 (15.8)	2 (10.5)	2 (10.5)	0 (0.0)	13 (68.4)
4級	10 (100.0)	2 (20.0)	3 (30.0)	1 (10.0)	0 (0.0)	5 (50.0)
5級	5 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (100.0)
6級	3 (100.0)	0 (0.0)	1 (33.3)	1 (33.3)	0 (0.0)	1 (33.3)
7級	5 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (100.0)

平成23年度「生活のしづらさなどに関する調査」（厚生労働省）のデータから作成

表 2 2 身体障害者手帳保持（視覚障害）者と問 1 0 - (2) 「眼の病気」の関係（等級別） N (%)

			眼の病気		左記病気なし	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
視覚障害	642	(100.0)	262	(40.8)	380	(59.2)
1 級	216	(100.0)	80	(37.0)	136	(63.0)
2 級	185	(100.0)	84	(45.4)	101	(54.6)
3 級	64	(100.0)	24	(37.5)	40	(62.5)
4 級	63	(100.0)	20	(31.7)	43	(68.3)
5 級	67	(100.0)	33	(49.3)	34	(50.7)
6 級	47	(100.0)	21	(44.7)	26	(55.3)

平成 23 年度「生活のしづらさなどに関する調査」（厚生労働省）のデータから作成

表 2 3 身体障害者手帳保持（聴覚障害）者と問 1 0 - (2) 「耳の病気」の関係（等級別） N (%)

			耳の病気		左記病気なし	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
聴覚障害	562	(100.0)	196	(34.9)	366	(65.1)
2 級	186	(100.0)	42	(22.6)	144	(77.4)
3 級	84	(100.0)	32	(38.1)	52	(61.9)
4 級	100	(100.0)	43	(43.0)	57	(57.0)
6 級	192	(100.0)	79	(41.1)	113	(58.9)

平成 23 年度「生活のしづらさなどに関する調査」（厚生労働省）のデータから作成

表 2 4 身体障害者手帳保持（呼吸器機能障害）者と問 1 0 - (2) 「肺・気管支関係の病気」の関係（等級別） N (%)

			肺・気管支関係の病気		左記病気なし	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
呼吸器機能障害	166	(100.0)	98	(59.0)	68	(41.0)
1 級	59	(100.0)	29	(49.2)	30	(50.8)
3 級	84	(100.0)	61	(72.6)	23	(27.4)
4 級	23	(100.0)	8	(34.8)	15	(65.2)

平成 23 年度「生活のしづらさなどに関する調査」（厚生労働省）のデータから作成

表 2 5 身体障害者手帳保持（心臓機能障害）者と問 1 0 - (2) 「狭心症・心筋梗塞、その他の循環器系の病気」の関係（等級別） N (%)

			狭心症・心筋梗塞		その他の循環器系の病気		左記病気いずれもなし	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
心臓機能障害	1,252	(100.0)	259	(20.7)	272	(21.7)	752	(60.1)
1 級	882	(100.0)	124	(14.1)	212	(24.0)	562	(63.7)
3 級	230	(100.0)	85	(37.0)	42	(18.3)	112	(48.7)
4 級	140	(100.0)	50	(35.7)	18	(12.9)	78	(55.7)

平成 23 年度「生活のしづらさなどに関する調査」（厚生労働省）のデータから作成

表 2 6 身体障害者手帳保持（じん臓機能障害）者と問 1 0 - (2) 「腎臓の病気」の関係（等級別） N (%)

		腎臓の病気		左記病気なし	
じん臓機能障害	450 (100.0)	241 (53.6)		209 (46.4)	
1 級	405 (100.0)	225 (55.6)		180 (44.4)	
3 級	20 (100.0)	9 (45.0)		11 (55.0)	
4 級	25 (100.0)	7 (28.0)		18 (72.0)	

平成 23 年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省) のデータから作成

表 2 7 身体障害者手帳保持（ぼうこう・直腸機能障害）者と問 1 0 - (2) 「ぼうこうの病気、大腸・直腸の病気」の関係（等級別） N (%)

		ぼうこうの病気		大腸・直腸の病気		左記病気いずれもなし	
ぼうこう・直腸機能障害	263 (100.0)	22 (8.4)		86 (32.7)		160 (60.8)	
1 級	15 (100.0)	1 (6.7)		1 (6.7)		13 (86.7)	
3 級	25 (100.0)	4 (16.0)		8 (32.0)		14 (56.0)	
4 級	223 (100.0)	17 (7.6)		77 (34.5)		133 (59.6)	

平成 23 年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省) のデータから作成

表 2 8 身体障害者手帳保持（小腸機能障害）者と問 1 0 - (2) 「小腸の病気」の関係（等級別） N (%)

		小腸の病気		左記病気なし	
小腸機能障害	24 (100.0)	9 (37.5)		15 (62.5)	
1 級	4 (100.0)	4 (100.0)		0 (0.0)	
3 級	4 (100.0)	0 (0.0)		4 (100.0)	
4 級	16 (100.0)	5 (31.3)		11 (68.7)	

表 2 9 身体障害者手帳保持（肝臓機能障害）者と問 1 0 - (2) 「肝臓・胆のうの病気」の関係（等級別） N (%)

		肝臓・胆のうの病気		左記病気なし	
肝臓機能障害	21 (100.0)	6 (28.6)		15 (71.4)	
1 級	12 (100.0)	5 (41.7)		7 (58.3)	
2 級	4 (100.0)	1 (25.0)		3 (75.0)	
3 級	44 (100.0)	0 (0.0)		44 (100.0)	
4 級	1 (100.0)	0 (0.0)		1 (100.0)	

平成 23 年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省) のデータから作成

表 3 0 身体障害者手帳保持（ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害）者と問 1 0 - (2) 「免疫の病気」の関係（等級別） N (%)

		免疫の病気		左記病気なし	
ヒト免疫不全ウイルス による免疫機能障害	14 (100.0)	3 (21.4)		11 (78.6)	
1 級	7 (100.0)	2 (28.6)		5 (71.4)	
2 級	2 (100.0)	1 (50.0)		1 (50.0)	
3 級	4 (100.0)	0 (0.0)		4 (100.0)	
4 級	1 (100.0)	0 (0.0)		1 (100.0)	

平成 23 年度「生活のしづらさなどに関する調査」(厚生労働省) のデータか